

2010年度

科目名	文献講読Ⅰ		
担当教員	吉原 忠雄		
配当	文財2	コード	34230
開期	前期	講時	水曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	日本美術史研究に必要な基礎的文献の理解		
目的と概要	日本美術史研究には、様式・図像とともに文献の理解が欠かせない。昨年は『日本書紀』『続日本紀』など飛鳥時代から奈良時代の文献から美術史に関する箇所を抄出したが、本年度は空海の『請来目録』、『日本後紀』や貴族の日記などからの関係箇所の理解に努める。		
成績評価法	平常点(20%)と部分的な課題に対する答え方(40%)と試験の結果(40%)により評価する。		
テキスト	プリントを用意する。		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	予めプリントの短い箇所を割り当てるので、その箇所を読み、説明できるように準備すること。		
講義計画			
1 オリエンテーション 2 九条兼実『玉葉』治承4年12月29日条 3 『養和元年記』 4 『吾妻鏡』文治2年3月2日条 5 『玉葉』寿永2年正月24日条 6 『東大寺統要録』 7 円成寺大日如来坐像銘文 8 願成就院不動明王・毘沙門天立像、浄楽寺不動明王・毘沙門天立像銘文 8 大報恩寺准胝観音立像銘文 9 蓮華王院本尊千手観音坐像銘文 10 『法然上人絵伝』 11 九条兼実『玉葉』承安3年9月9日条 12 『神護寺略記』 13 藤原定家『明月記』承元元年5月条 (1) 14 藤原定家『明月記』承元元年5月条 (2) 15 まとめ			